



ロータリーは機会の扉を開く





川崎大師ロータリークラブ週報

第48期
 会長 猪狩 佳亮
 副会長 大崎 克之
 幹事 竹中 裕彦
 SAA 横山 俊夫

例会日：毎週水曜日 12:30～
 例会場：大本山川崎大師平間寺 金剛閣 客殿
<http://www.kawasakidaishi-rc.com/>
daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第2290回（本年度 第27回）例会 2021年5月12日 一晴れ一

- 司会 横山 俊夫 SAA
- 開会宣言並びに点鐘 猪狩 佳亮 会長
- 斉唱 ♪<君が代><奉仕の理想>
 須山 文夫 ソングリーダー
- 入会祝い 八尋 匡彦 親睦委員長
 鈴木 昇二 会員 2004.05.12
 布川 浩 会員 2017.05.24
- 奥様の誕生祝い 八尋 匡彦 親睦委員長
 秦会員 奥様 明子 様 八尋会員 お母様 早苗 様
- 会員誕生祝い



遠藤 悦弘 会員 須山 文夫 会員 牛山 裕子 会員
 八尋 匡彦 会員 布川 浩 会員

- 会長報告 猪狩 佳亮 会長
- ① 「RLI パートⅢ修了書」が八尋会員、布川浩会員に届きました。八尋会員には、すべてのパートを終了された方への”RLI バッチ”も届いております。



② 5月7日16時～ 子ども食堂を運営する大師新生教会様に、10万円の贈呈式をしてまいりました。地区のプロジェクトにより、地区から10万円をクラブに交付、地域の子ども食堂へ寄贈し支援するとともに、クラブと運営団体とが継続的な交流をするきっかけになれば、というのがガバナーの意図で、当クラブでも実現できればと思います。タウンニュースの取材もしていただき、近日中に掲載される見込みです。

③ 5月26日ついに地区補助金プロジェクト ボッチャ大会開催されます。詳しくは奉仕委員会からご報告があると思いますが、大師支所との協議により実施が決定しました！たくさんの会員のご参加をお願いします。

●幹事報告 竹中 裕彦 幹事

- ① 配布物：ロータリーの友5月号
 ガバナー月信第11号
- ② 他クラブの例会案内 川崎マリーンRC、5/13 例会を取消し、川崎RCは、メイクアップでの受付のみで対応

③ 本日例会終了後の第11回定例理事会開催案内

●出席報告 中村 眞治 出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2290回	48	44	26	18	59.09%
2288回	48	43	24	19	53.33%
前々回の修正メイクアップ 14名・修正出席率					83.37%

メイクアップ

林 鶴 会員 伊藤 佳子 会員 出井 宏樹 会員
 八尋 匡彦 会員 森田 尊久 会員 河本 正茂 会員
 舞川 扇彩 会員

●スマイルレポート 大崎 克之 副会長



牛山 裕子 会員

①誕生日にクラブからデンドロビュームを頂戴しました。元気に華やかに咲き誇っています。ありがとうございます。

②八尋さん、バースデーカードありがとうございました。RLIを楽しんで頂けて卒後コースにもご参加下さると伺い、安堵しました。

③本日のクラブ協議会、準備不足かもしれません。宜しくお願ひ致します。

八尋 匡彦 会員

母へのお花を頂きありがとうございます。

大崎 克之 副会長

大師新生教会さんへの贈呈式にご出席の皆様、お疲れ様でした。地域の子供が喜ぶ姿を教会さんと一緒に見ていきたいですね。

竹中 裕彦 幹事

①コロナ禍での2度目のGW、皆様如何お過ごしでしたでしょうか？

②結婚おおよそ35年で夫婦2人の生活に戻りそうです。

絆創膏が増えてても笑わないで下さいね。

猪狩 佳亮 会長

①7日の大師新生教会への贈呈式にご参加の大崎副会長、竹中幹事、鈴木昇二奉仕委員長、布川社会奉仕委員長、石渡勝朗さん、ありがとうございました。大崎さん、シュークリームごちそうさまでした。

②本日は次年度に向けての重要なクラブ協議会です。牛山エレクト、布川次年度幹事、渾身のお話をよろしくお願ひ致します。

③Let's PLAY ボッチャ AGAIN! (来週も同じこと言います)。

本日のニコニコのテーマ

『輝ける次年度に向かって!』

遠藤 悦弘 鈴木 幹久 野澤 隆幸 中村 眞治
 鈴木 昇二 須山 文夫 小林 勇次 出井 宏樹
 内田 省治 布川 浩 大谷 茂 青山 正彦
 奥山 啓寛 舞川 扇彩 早坂 清裕 各会員

●委員会報告

◎布川 浩 社会奉仕委員長

ボッチャ大会移動例会のお知らせです。すでに会員の皆様にご案内差し上げていますが、あらためて大会への参加のお願いをさせていただきます。

日時は5月26日(水)午前11:30集合です。

場所は「カルツかわさき2階小体育室」です。

当日は大師地区スポーツ活動振興会にボッチャ用具の贈呈式を行い、その後地域の皆様と一緒にボッチャを楽しむことになってます。会場は大師支所の協力によりコロナウイルス感染防止対策を万全にしてあります。参加される方は、スポーツをしやすい服装で、必ず室内履きをご持参下さい。また、当日の昼食は出ませんので、各自で事前にお済ませ下さい。

終了時間が15時と長時間になりますので、ご都合により途中参加・途中退室も可能です。本日、出欠の回覧をしていますので、是非出席に○をお願いします。

地域の皆様と交流する貴重な機会です。多くの方の参加をお願いします。

●閉会宣言並びに点鐘 猪狩 佳亮 会長

～～～ 第 5 回クラブ協議会 ～～～

猪狩 佳亮 会長より大切な次年度に向けての協議会である旨ご説明がありました。

☆布川 浩 次年度幹事 所信



2021-22年度クラブ幹事を務めることになりました布川浩です。2017年5月、前回牛山年度の時に入会しました。入会してからちょうど丸4年経ち5年目になりました。

クラブではローターアクト委員長、青少年奉仕委員長として主に川崎大師ローターアクトクラブへの支援活動、本年度は社会奉仕委員長として正月の献血活動や再来週実施予定のポッチャ大会等の奉仕活動に携わりました。また、地区では3年連続で地区ローターアクト委員会に携わり、先輩方からご指導頂きながら様々な経験をさせて頂きました。

そして昨年9月頃、当時の会長エレクト伊藤佳子さんから次年度幹事のご指名を受け、悩みに悩んだ末に受託致しました。振り返ると伊藤佳子さんのお嬢さんとは小学校の同級生という関係を思い出し、いずれにしても断ることはできなかったと思います。

その後、伊藤佳子さんは残念ながら健康上の理由で次年度会長を辞退されましたが、“Get Over Through”（乗り越える）という素晴らしいクラブスローガンを頂きました。そして、現在新しく会長エレクトに就任された牛山裕子さんが、伊藤佳子さんの掲げたスローガンを継続していくこととなり、クラブ幹事としてそのスローガンの実現のため、会長・副会長そして各会員の皆様と一致団結して活動していきたいと考えております。

次年度は、大師地区を中心に奉仕活動していくことで、地域社会と一致団結して「危機を乗り越える」ことを重点事項としています。昨年から続くコロナ禍で地域の皆様との交流が難しい状況ですが、可能な限りチャレンジしていくつもりです。

ただ、私も幹事という大役は初めてのことなので、何をすれば良いのかいまだに試行錯誤の状態です。現状は偉大な先輩達が遺した過去の活動計画書や活動報告書を見て、見よう見まねで次年度の準備を進めています。まだまだ経験不足で皆様からご批判を受けることもあるとは思いますが、その時はご指導よろしく申し上げます。

ロータリーの活動は1人ではできることが限られます。より多くの皆様が一致団結して力を合わせることで、より充実した活動になるようクラブ幹事として1年間努力していきます。

会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

☆坂東 保則 次年度副会長 所信

(牛山 裕子 会長エレクト代読)

この度、急遽、副会長を仰せつかることになりました、坂東保則でございます。

4月上旬、牛山会長より、お話を頂き、その場でお受けさせて頂く意向をお伝え致しました。

私は、川崎大師駅前生まれで、川中島小学校4年生の時、1964年「東京オリンピック」が開催された際、小学校の鼓笛隊の一員、副指揮者・小太鼓等の担当として、当時の川崎球場のグラウンド内で、オリンピックイベント関連に伴う催しで、行進等行った記憶が、今となって大きく蘇ってきます。

昨年に引き続き、コロナ渦の中、2021年～2022年度のクラブのスローガン“Get Over Through”（乗り越える）の方針の基、会長・幹事にご協力させて頂きたいと思っております。

副会長の役割は、基本的に「クラブ管理運営委員会」のまとめ役を担うものと思いますが、コロナウイルスはじめ、様々な困難な問題を、会員相互の協力により、各会員

ができる範囲で支え合い、その危機を乗り越えなくてはならないと思います。

そのためには、川崎大師ロータリークラブが、その地域社会と共に培ってきた様々なノウハウを、より柔軟に活用する事が求められると思います。国土強靱化計画ではありませんが、襲い掛かる様々な災いに対し、当該組織が、より「強く」、被害を受けたとしても、それは最小限度に、また組織としての重要な機能、求められる奉仕活動は致命的損傷なく維持され、更に迅速な復旧による「しなやかさ」、つまり柔軟性のある対応が不可欠となるはずです。

クラブ管理運営委員会は、「親睦」、「出席」、「会員増強」、「会員選考」、「職業分類」、「クラブ研修」、「規定」、「プログラム」、「クラブ会報」、「雑誌・広報」、「エイジングプログラム」、「フォローアップ」、「年忘れ家族会・創立記念例会」、「同好会」等の様々な委員会で構成されています。各委員会目標としては、「測定可能かつ達成可能」とし、実行するための連携した「行動計画」を作成し、必要な資金を定められた「予算」内で設定し、各委員が「モチベーション」を保てるよう、前任委員長とも連携した継続性も必要になると思います。

川崎大師ロータリークラブは、基本的には明るく活気があり、親しみやすく癒される和み・潤いの空間を創出できるような・・・そんな温かみのある楽しいクラブを運営していきたいと思っています。

会員の皆様方のご理解とご協力を御願い申し上げます。

☆牛山 裕子 会長エレクト 所信



2021 年～2022 年度クラブ会長を、伊藤佳子さんに代

わって、急遽務めることになりました、牛山裕子でございます。

出生地は米国イリノイ州ですが、日本軍の真珠湾攻撃直後に引き上げてきて、川崎大師のたき新家さんの借家に住んだことがあり、昭和 20 年 4 月の空襲で御大師さまの御本堂が青緑色の炎を上げていた、私の人生最初の衝撃な記憶であります。ということで、川崎大師にはご縁がある、という想いもあって、横浜から通ってきております。

さて、当クラブ第 49 代会長をお引き受けすることになりますが、川崎大師ロータリークラブ創立 50 周年の前年でもありますので、慎重かつ大胆に会長としてのリーダーシップを発揮させていただきます。

2021 年～22 年度の会長方針は、伊藤佳子さんがクラブのスローガンとして示された **“Get Over Through”** (乗り越える) を基として、奉仕活動、会員増強、親睦活動は地元 (川崎大師地区) first とします。もともと、ロータリーの各クラブのテリトリーは地元であって、国際ロータリー第 2590 地区の中でも、当クラブは地元で奉仕活動のターゲットはたくさんあるはずですし、お隣さん同士でクラブ会員であっても当然の場所です。

これから述べるのは、伊藤佳子さんの会長活動方針です。世界中がコロナ一色に塗りつぶされ、東京オリンピックも延期となる中、感染防止に対する危機管理が私たちにも問われます。そして危機はコロナウイルスだけでなく、例えば地球温暖化による環境破壊の懸念、子供たちの貧困問題等多くの危機が存在し、さらにこのような危機をきっかけとした地域社会の分断が私たちに襲いかかろうとしています。私たち川崎大師ロータリークラブは、このような状況に地域社会と共に一致団結して、様々な活動を通して危機を乗り越えて行くべきだと考えます。

シカゴ RC のハーバート・ティラー氏が危機に瀕したときに乗り越えた『四つのテスト』があります。

真実か どうか
 みんなに 公平か
 好意と友情を 深めるか
 みんなのためになるか どうか

私たち大師ロータリークラブもこの危機を乗り越えて行きましょう。スローガンは『**Get Over Through**』(乗り越える)としました。

さて、2022～23 年度、炭谷会長年度には川崎大師 RC は創立 50 周年を迎えます。このクラブは良いクラブだと思います。「良い」? どこが良いのか、

1. 企画力がある会員がいること。
2. 実行力がある会員がいること。
3. 即戦力となれる会員がいること。

しかし、クラブの全員が奉仕活動などに関わっているのか、如何でしょうか。

第 1 番目の目標です。このクラブの各委員会の活動計画ですが、委員会皆さんで相談して作成してください。自分の所属する委員会が何を推進しているのかも知らない、関わらない、会員がいないよう、会員間のコミュニケーションを密にしましょう。

2 番目の目標は、ガバナーを輩出すること。大師地区での会員増強は進み、地元を中心とした奉仕活動、親睦活動ができる地盤が整いつつあります。クラブの求心力、モチベーションを上げて、川崎大師 RC の認知度を上げたいと思います。時間を掛けて、ガバナー候補者を発掘し、クラブとしての協力体制を整えましょう。地元でのさらなる会員増強に務めましょう。

第 3 番目、計画性を持って、かつ、何時も何事にも臨機応変に対応出来る強靱で柔軟性をもってクラブ運営にあたります。新型コロナウイルスの感染症拡大、大きな天災地変、などに類似する災害はこれからも「ない」とは言えません。非常時にも慌てず、必要な奉仕活動ができ、ロータリアンとしての絆を大切にしたい、「備え」をしながら、遊び心とゆとりのあるクラブ運営を致します。

2021 年～22 年度国際ロータリー会長指針を私なりに解説しながら御伝えます。シェカール・メータ会長は「会長テーマ」として『奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために』です。インド出身でカルカット・マハナガル RC 所属です。メータさんは夢は大きい方が人々の心を動かし実現させようと思わせる、大きな夢を大きく実現する、大きな夢を持つのも実現させるのも、主語

は I (私)ではなく WE (私たち)です。RI 会長して達成したいことは、

1. ロータリーの会員数を 130 万人とすること。
 2. 特に女性の力を引き出し奉仕活動に注力すること。
- 要は、会員特に女性会員を増やしましょう、女性に活躍の場を与えましょう、ということでしょう。大きな夢をクラブの活動計画に置き換えてみれば、リーダーだけでなく大勢のクラブ会員を巻き込んで達成してください、ということでしょう。

女性会員について、私は 2019～20 年度の地区研修協議会会長部会のサブリーダーとしてデータを提示してご説明しました。第 2590 地区での会員の推移を見たときに、女性会員は人数は少ないけれど、退会者が少なく、長期的に見ると安定した会員維持ができるとうことでしょうか。2012 年でしたか、リーマンショックの時には地区全体で 120 名ほどの退会者があり、この年を境に、会員数減少が止まらなくなっています。女性が退会しない、動かないのは、職業にもよると考えます。多くの女性会員は、個人事業主か資格をもって活躍している方々ですから、世の中の経済動向などに左右される度合いが少ないかもしれません。

しかし、国際ロータリー創立から 116 年を経て、「女性の力を引き出す」と明言される国際ロータリー会長の下でクラブ会長を務めるには、「女性の特性」を考えて、女性会員の増強を皆様へお願いするしかない、と考えますが、私自身は、川崎大師という地域の中で、男女に関係なく、多様な職業、立場、思想を持った方がたが、川崎大師 RC へ興味をもって頂く、これがクラブ会員を増やす第一歩だと思っております。

次に、我が国際ロータリー第 2590 地区・小倉正ガバナー(横浜 RC)のテーマは、

「クラブ基盤のさらなる充実強化 ～ 会員の増強こそが最大のサービス(奉仕)」です。

地区研修協議会会長部会では、クラブ会長の役目は、「リーダーシップを発揮すること。CLPを進めること。」を強調されました。

本来は、会長エレクトは PETS を受講したうえで、クラブ協議会へ臨み、次年度のクラブ方針を述べます。私

には、特例の PETS がありまして、5 月 19 日に小倉ガバナーエレクトから直接ご講義頂き、質疑応答をお願いするつもりです。各クラブが取り組むべき事項を、8 項目ほど御提示頂いておりますが、ほど、例年のガバナー方針の踏襲と拝察しました。コロナ禍の中だからこそ、ロータリーとして、できる奉仕活動があるはずですし、計画的に取り組むべきだと思っております。時代の要請に応じて奉仕活動をする、ロータリーであった方が良いのでは、と思います。

創立 50 周年に繋がるクラブ運営に注力致します。クラブ創立半世紀の集大成をしなければならない 1 年間です。御協力宜しくお願い致します。

●奉仕委員会より報告

「大師新生教会こども食堂」支援金贈呈式を行いました。

先般地区よりコロナ禍におけるこども食堂に対する施策が出され、当クラブは期初より検討しておりましたので、協議の上支援金 10 万円を寄贈しました。

日時：令和 3 年 5 月 7 日(金) 16 時～

場所：大師新生教会 川崎区大師町 15-9



●5 月 19 日例会のお花



オーニソガラム・シルソイデス ユリ科

南アフリカ原産で、葉は球根から直接出るので、花茎には葉を付けない。六弁の花はクリーム白色で、花冠は星形で中心に目のように見えている雄しべは緑色。

花言葉：長寿

●2021 年 5 月 26 日は、**ボッチャ大会移動例会**です。

11 時 30 分点鐘 カルッツ川崎 2F 小体育室

スポーツのできる軽装で室内履きを持参下さい。

昼食はございませんので各自でお済ませ下さい。

クラブ会報委員会 横山 俊夫 青山 正彦 竹中 裕彦



